

**〔長久手町業務評価票：平成16年度業務〕**

課係NO・業務NO	- .	総合計画	1 - (4)	管渠整備
担当課・係名	下水道 課 業務 係 【問合せ・質問等の先(内線番号) 293番】			

<b>業務の名称</b>	下水使用料賦課、徴収事務事業					
(1)根拠法令・条例	長久手町下水道条例					
(2)当該業務量 (延人員規模含む)	総業務量の <u>20</u> % (係の総業務量を100%とする) 職員延人数： <u>348</u> 人・日 (臨時雇用者延人数： <u>0</u> 人・日)					
(3)事業費 (人件費分を除く)	<u>18,063</u> 千円(平成16年度決算)					
(4)補助率(補助金がある場合のみ記載)	<u>0.</u> % (平成16年度実績)					
(5)業務期間	開始した年度	平成8年度	終了(予定)年度	年度		
<b>(6)業務の概要</b>						
業務目的(達成目標)	下水道使用料を徴収することによって、安定した運営を行う。					
業務が対象とする住民(地域、層)	下水道に接続し、受益を受ける住民					
業務の具体的な実施内容・方法 (平成16年度実績)	使用料を算定し、次のような段階を踏んで徴収を実施している。 納付書の送付 督促状の送付 催告書の送付 電話による催告 戸別訪問による催促					
業務の実施結果 (平成16年度実績)	工事説明会や使用開始通知等により、各戸の接続が順調に増えたにもかかわらず、使用料徴収率を維持することができた。					
	【業務結果の説明指標】					
	結果の説明指標		15年度	16年度	17年度	22年度
1	徴収率		98%	98%		
2						
3						
4						
5						
業務の成果(業務目的の達成状況) (平成16年度実績)	使用料の徴収額が伸びた。					
	【業務成果の説明指標：基本計画準拠】					
	成果の説明指標		15年度	16年度	17年度	22年度
1	使用料金徴収額(千円)		225,631	273,855		
2						
3						
4						
5						

(7) 遂行上の問題点、取組課題

接続者が増えることによって、使用料の額が増えるとともに未納額も増えるため、その滞納対策が課題である。

(8) 改善実績（過去3年間の実績）

滞納対策として戸別訪問回数を増やしたこと。

(9) 業務の評価

評価基準	評価の視点	五段階評価 (5～1点)
目的の達成状況	業務目的に対して、どの程度の成果が得られているか。	3点
コストパフォーマンス	成果を上げるために投入してきた人的資源、財源は、最適であったか。	3点
業務方法の最適採用	業務の円滑で効率的な実施に採用した方法・手法は業務の目的、取り巻く状況に対応して最適であったか。	4点
住民の満足・信頼獲得	受益する住民の満足、行政に対する信頼は高められたか。	4点
総合計画との整合	総合計画（基本計画）の方針に対応しているか。	3点
他都市との比較	近隣の都市、類似団体に比べて業務の進み具合はどうか。	4点
		平均 3.5点

(10) 総合評価

今後の方向 (該当番号に○印)	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 前年度と同じく、そのまま継続する。<ul style="list-style-type: none"><li>. 見直して継続（業務の拡大）</li></ul></li><li>3. 見直して継続（業務の縮小）</li><li>4. 見直して継続（方法の改善）</li><li>5. 見直して継続（他業務と統合）</li><li>6. 廃止する。</li><li>7. 休止する。</li></ol>
評価理由	使用料の徴収額が増えるに伴い、未納者も増えることが予測されるため、引き続き誠意をもって住民に接し、納付依頼を行っていく。

(11) 今後の改善方針

使用料徴収事務について、使用頻度が増えているため、下水道使用料調定収納管理システムを平成18年度から更新し、業務の効率化を図る。